

# 功績昇段

原則として1回限りとする。

| 昇段する段位 | 経過年限        |
|--------|-------------|
| 初段     |             |
| 二段     | 初段昇段後 7年以上  |
| 三段     | 二段昇段後 8年以上  |
| 四段     | 三段昇段後 9年以上  |
| 五段     | 四段昇段後 10年以上 |
| 六段     | 五段昇段後 15年以上 |
| 七段     | 六段昇段後 18年以上 |
| 八段     | 七段昇段後 21年以上 |

# 形の修行と試合試合成績並びに修行年限

2015.5.1

|        | 初段  | 二段   | 三段   | 四段   | 五段    | 六段   | 七段   | 八段    |
|--------|---|------|------|------|-------|--|------|-------|
| 評定される形 | 投の形<br>手技<br>腰技<br>足技                     | 投の形  | 固の形  | 柔の形  | 極の形   | 護身術  | 五の形  | 古式の形  |
| 秀      | 全日本柔道選手権大会、世界柔道選手権大会又はオリンピック競技大会柔道競技で3位以上 |      |      |      |       |  |      |       |
| 年限     |   | 半年以上 | 1年以上 | 1年以上 | 1年以上  | 5年以上   | 6年以上 | 9年以上  |
| 優      | 10点以上(又は全柔連強化指定選手に選考されていること。)             |      |      |      |       | 下記のいずれかを満たしていること。<br>①選抜された大会で10点以上<br>②高段者大会で16点以上<br>③選抜された大会と高段者大会の合計点数が16点以上 | 省略   | 省略    |
| 年限     |   | 半年以上 | 1年以上 | 1年以上 | 1年半以上 | 7年以上   | 9年以上 | 12年以上 |

|   |      |       |       |      |      |      |       |   |       |
|---|------|-------|-------|------|------|------|-------|---|-------|
| 良 | 6点以上 |       |       |      |      |      |       | 以下のいずれかの条件をみたしていること。<br>(1) 選抜された大会・試合の成績 府県以上の連盟又は府県以上の職域団体に選考されて各種大会・試合に度々出場していること。<br>(2) 前段位において、全国又は地区高段者大会に出場し、6点以上あること。七段候補者については、五段における府県高段者大会の成績を含むことができる。 | 省略    |
|   | 年限   | 1年以上  | 1年半以上 | 2年以上 | 3年以上 | 4年以上 | 9年以上  | 12年以上   | 15年以上 |
| 可 | 3点以上 |       |       |      |      |      |       | 前段位において、全国又は地区高段者大会に出場し、3点以上あること。七段候補者については、五段における府県高段者大会の成績を含むことができる。  | 省略    |
|   | 年限   | 1年半以上 | 3年以上  | 4年以上 | 5年以上 | 6年以上 | 12年以上 | 15年以上   | 18年以上 |

## 大会・試合の得点計算

|             |            |       |
|-------------|------------|-------|
| 勝ち<br><br>○ | 2階級以上上位段者  | 2.0 点 |
|             | 1階級以上の上位段者 | 1.5 点 |
|             | 同段者        | 1.0 点 |
|             | 1階級下       | 0.5 点 |
|             | 2階級下       | 0.3 点 |

|           |           |       |
|-----------|-----------|-------|
| 引き分け<br>× | 2階級以上上位段者 | 1.0 点 |
|           | 1階級上位段者   | 0.75点 |
|           | 同位段者      | 0.5 点 |
| 負け<br>△   | 勘定せず。     |       |

注意事項(昇段内規改正)

高段者大会の得点は次のとおりとする。

(1)平成27年4月1日以降に開催された大会(全国、地区、府県高段者大会共通)

・「勝ち」 1.0点

・「引き分け」 0.5点

(2)「参加奨励点」

講道館主催の全国柔道高段者大会参加者には参加点0.25が与えられる。

(3)平成27年3月31日以前に開催された府県高段者大会(及び同等)の得点は次のとおりとする。

|  | 七段候補者 |        | 八段候補者 |       |
|--|-------|--------|-------|-------|
|  | 勝ち    | 引き分け   | 勝ち    | 引き分け  |
| 平成17年3月31日以前に開催された府県高段者大会                | 0.75点 | 0.375点 | 1.0点  | 0.5点  |
| 平成27年4月1日以降<br>平成27年3月31日以前に開催された府県高段者大会 | 0.5点  | 0.25点  | 0.5点  | 0.25点 |

# 講道館入門願書の書き方

2015.5.1

1 フリガナ欄 カタカナで書き、姓と名の間に1空欄をおくこと。濁音文字は2文字とする。

例 ヤ マ タ ` \* タ ロ ウ

2 姓名 戸籍と同じ文字で記入すること。例 齊・齊・齋・齋又は高・高等色々あり。  
保険証、免許証で親に確認すること。

省略文字を書かないこと 例 齊藤 \* 健志

例 山田太郎の場合

山 田 \* 太 郎 \* 印は空欄にする。

印 印の印影は、姓と同じ文字が望ましい。

3 現住所 都道府県コードは。 1 4 山梨県のコード番号です。

4 郵便番号 自分の家の郵便番号を記入する。

5 市区郡名町村番地  
例 甲斐市竜王〇〇〇〇—〇

6 本籍地 都道府県コード 山梨県の方は現住所と同じコード番号です。

|        |        |       |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 99 本館  | 09 栃木  | 18 富山 | 27 大阪  | 36 香川 | 45 宮崎  |
| 01 北海道 | 10 群馬  | 19 石川 | 28 兵庫  | 37 徳島 | 46 鹿児島 |
| 02 青森  | 11 埼玉  | 21 福井 | 29 奈良  | 38 愛媛 | 47 沖縄  |
| 03 岩手  | 12 千葉  | 21 静岡 | 30 和歌山 | 39 高知 |        |
| 04 宮城  | 13 神奈川 | 22 愛知 | 31 鳥取  | 40 福岡 |        |
| 05 秋田  | 14 山梨  | 23 岐阜 | 32 島根  | 41 佐賀 |        |
| 06 山形  | 15 東京  | 24 三重 | 33 岡山  | 42 長崎 |        |
| 07 福島  | 16 新潟  | 25 滋賀 | 34 広島  | 43 熊本 |        |
| 08 茨城  | 17 長野  | 26 京都 | 35 山口  | 44 大分 |        |

性別 日本人男性の場合 1

日本人女性の場合 2

外国人男性の場合 3

外国人女性の場合 4

6 学校学年最終学歴 例 甲府市立甲府商業高校1年 甲斐市立竜王中学校2年

例 山梨学院大学卒

職業 生徒 中学・高校生の場合 学生 大学生

7 全日本柔道連盟会員登録番号 登録カードで確認すること。

8 推薦委託団体

団体コード

Y

M

N

漢字名

山梨県柔道連盟

注意 黒太い枠の外部分は、記入しないこと。(講道館で記入します)

# 昇段推薦書の書き方及び審査の流れ

2015.5.1

- 1 年号は総て西暦で記入すること。
- 2 講道館館員番号は、講道館に直接入門者又は有段者のみ記入すること。  
上記以外で、今回初段の人は、記入の必要はありません。
- 3 全日本柔道連盟会員登録番号は、登録カードの番号ですが、今年度からオンライン登録ですので、支部、道場の先生、中学・高校・大学の顧問の先生などに聞いてから記入すること。
- 4 推薦段位 初、二、三、四、五段と記入する。
- 5 現在段位 \_\_\_\_\_ → 初段は記入の必要はなく空欄にすること。  
昇段年月日 \_\_\_\_\_  
前回の推薦団体 二段以上の人は、必須。

昇段後満 年 月 現段位取得後今回申請する日まで何年何月か記入すること。

入門 本館は、東京講道館に直接入門した者のみ記入する。  
地方は、初段以上の者山梨県含む地方の昇段者です。よって、地方を○で囲むこと。

- 6 候補者氏名 戸籍に記入された文字で記入すること。健康保険証、免許証等で確認してください  
フリガナを書くこと。  
生年月日 西暦で記入すること。

- 7 現住所 郵便番号は、1行で記入しましょう。 〒400-0111  
郵便番号の下に郡市から記入すること。

- 8 本籍 本籍を確認し記入すること。

- 9 学歴 甲斐市立〇〇中学在学中  
私立〇〇大学卒業

- 10 職業 職業 中学・高校・大学生等は記入しないこと。  
公務員 会社員

- 11 試合成績  
三段から五段は以下のとおり。  
年月日は西暦で記入すること。

## 初段は、次のとおり。

一級での月次審査の記録によるので、月次審査記録事務責任者の印を押印してもらうこと。  
月次審査を受けてない者は対象外であるが、他県などでの試合成績がある場合は三段と同様成績を正確に試合相手の名前もフルネームで記入すること。

- 12 柔道修行経歴  
何時どこで誰の指導者の下で柔道を始めたかを記入  
例 02年〇〇柔道スポーツ少年団に入団し六段〇〇〇〇先生の指導を受け修業を始める。  
中学・高校・大学柔道部にて修行を継続した状況を別々に記入。  
高校柔道部にて修行を継続した状況を別々に記入。  
大学柔道部にて修行を継続した状況を別々に記入。  
〇〇道場で六段山梨三四郎先生の指導を受け修業を継続

- 13 現在の修行状況  
例 〇〇中学柔道部に入部し週5回10時間修業している。

- 14 柔道の普及発達に尽くした功績  
例 〇〇柔道スポーツ少年団の指導者として少年部の修業者に対して約30名に指導している。

- 15 その他特記事項  
例 2005年〇〇市体育功労者として表彰受賞  
2010年山梨県柔道連盟会長賞受賞

16 推薦理由・形は、昇段審議委員会事務局で記入します。

17 推薦書の作成部数

初段から三段の推薦者は、月次審査の昇段受付の本部に1部持参すること。

「講道館送付用推薦書」は形及び推薦理由欄に記入せず、空欄のこと県柔連の昇段担当で記入します。

四段及び五段は、月次審査の昇段受付の本部に1部持参のほかデータとしてUSBメモリーに保存して提出すること。なお、データ取り込みが完了すればUSBメモリーはお返しします。

18 昇段申請から昇段証書受領までの流れ

(服装:生徒、学生は制服、一般は、略礼服で来ること。)

- ① 昇段候補者は、上記のとおり推薦書(初段は入門願書含む。)に必要事項を記入して柔道手帳を添えて理事長に提出すること。
- ② 書類審査 推薦書の試合成績、形受講の有無、本人年齢確認など。受付印押印、処理表を添付審議員に回す。
- ③ 審議員閲覧 推薦書等の確認、成績、形等の確認など。
- ④ 書類審査合格者の会長面接  
面接は、会長からの質問に柔道人として正しく回答をすること。  
例 講道館柔道の精神及び具体的内容  
形の名称など。
- ⑤ 会長面接合格者 昇段事務受付へ推薦書等の書類提出及び昇段費用を収める。
- ⑥ 昇段事務受付担当から領収書を発行→受領し申請事務は完了。
- ⑦ 講道館へ推薦書送付(毎月末に昇段審議)合格であれば→本県昇段事務担当へ昇段証書等が郵送される。
- ⑧ 昇段事務担当から本人宛に昇段証書伝達の案内ハガキを発送
- ⑨ 昇段候補者は、ハガキを持って月次審査の昇段事務担当のところへ行き名前を言ってハガキを渡す。
- ⑩ 月次審査開始式で証書を受領し月次審査参加者に紹介する。